

森の環

高岡市葦附

高岡市南部の中田地区を拠点に、シイタケを菌床から一貫して生産・販売している。同市のほか、射水、砺波両市に計四つの菌床・栽培工場があり、124人が働いている。

2018年に本社横に新工場を建設し、「社名を「森の環」に変更した。名前には「循環する世界の一員として、一人一人がつながっている」との思いを込めた。地中熱や太陽光といった再生可能エネルギーを利用し、高気密高断熱の建物を使用するなど、環境に配慮した取り組みを各事業所で順次進めている。

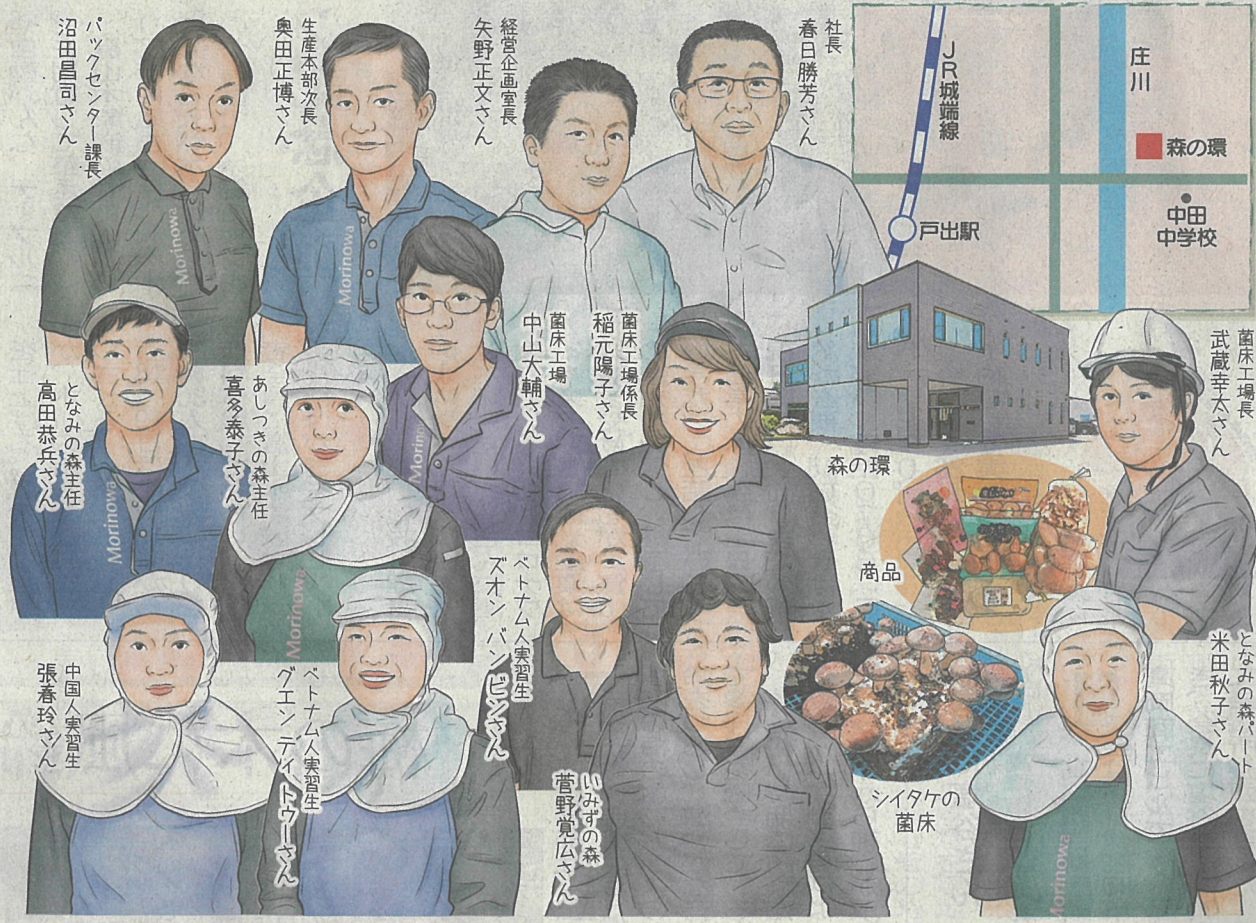
県内の広葉樹の間伐材を菌床にし、地下水を使って栽培している。昨年は、シイタケを820ト生産したほか、キクラゲを手掛けることにした。ハナヒラタケやマイタケ、白いキクラゲといった多彩なキノコ類を商品化することも新たに進めている。

廃菌床の肥料としての活用にも試験的に取り組んでおり、春日勝芳社長は「自然との共存や、人と人とのつながりを大切にしていきたい」と話している。

がんばってます
富山の職場



再生エネでシイタケ生産



次回は23日、「木の香前川建築グループ」(立山町四谷尾)

(正橋悠)